資料１

平成30年度
千葉市水道事業会計予算について

千葉市
CHIBA CITY

平成29年度第2回
千葉市水道事業運営協議会
平成30年3月28日（水）

千葉市水道局

目 次

1　総括事項

（１）基本的な考え方　P. 3

（２）業務の予定量　P. 3

（３）収益的収支の概要　P. 4

（４）資本的収支の概要　P. 4

2　収益的収支について

（１）収益的収支の構成　P. 5

（２）前年度予算との比較　P. 6

3　資本的収支について

（１）資本的収支の構成　P. ７
（２）前年度予算との比較　P. ８

4　中期経営計画との比較について

（１）主要事業等の計画と実績【平成２９年度】　P. ９～１０
（２）主要事業の実績【平成２９年度決算見込】　P. １１～１２
（３）主要事業等の計画と当初予算【平成３０年度】　P. １３
（４）主要事業の予定【平成３０年度当初予算】　P. １４～１５

5　長期施設整備計画の策定状況

（１）計画の位置付け　P. １６
（２）計画策定の目的　P. １７
（３）策定までの流れ　P. １８
（４）対象施設　P. １９
（５）現状分析　P. ２０～２３
（６）将来分析　P. ２４～２６
（７）次年度の内容　P. ２７
（８）今後の予定　P. ２８

※本資料においては、

・単位未満を四捨五入して表示しているので、合計が一致しない場合があります。
・千葉市水道事業中期経営計画（計画期間：平成28 ～32年度）を「中期経営計画」と表示しています。

1　総括事項　（１）基本的な考え方

■安全な水を安定して供給するため、
配水管の整備、霞ヶ浦開発事業などへの費用負担 を行います。

■浄水場の機能を適正に維持するため、
平川浄水場の設備の更新 を行います。

■震災対策として、
送水管の二系統化※ を行います。
※なお、平成３０年度は大野台送水ポンプ場設備改良を行います。

■水道事業維持のための戦略的な取り組みとして、
長期施設整備計画の策定 を行います。

■**霞ヶ浦導水事業からの撤退に伴い、必要な経理処理など**を行います。

■その他事業運営にあたっては、より一層の経費節減を図り、効率的な事業経営に努めます。

（２）業務の予定量

■給水戸数：1万9,666戸（前年度に比べ147戸増）
■年間総給水量：483万7,054㎥（前年度に比べ3万5,887㎥減）
■１日平均給水量：1万3,252㎥
■主要な建設改良事業費：拡張費1億6,800万円、改良費1億4,500万円

（３）収益的収支の概要

※「収益的収支」とは・・・**事業の管理・運営** に関する収入および支出をいいます。

【収益的収入】

■営業収益（水道使用料など）：11億1,700万円
■営業外収益（他会計補助金など）：13億9,500万円
■特別利益（長期前受金戻入など）：12億7,300万円　　■合計：37億8,500万円

【収益的支出】

■営業費用（県からの受水費、職員給与費、減価償却費など）：19億3,300万円
■営業外費用（企業債利息など）：1億9,700万円
■特別損失など（減損損失など）：16億5,300万円　　■合計：37億8,300万円

（４）資本的収支の概要

※「資本的収支」とは・・・**施設の建設・改良** に関する収入および支出をいいます。

【資本的収入】

■拡張費及び改良費に充当する企業債：2億2,700万円
■出資金：3億4,400万円
■負担金：2億5,900万円　　■合計：8億3,000万円

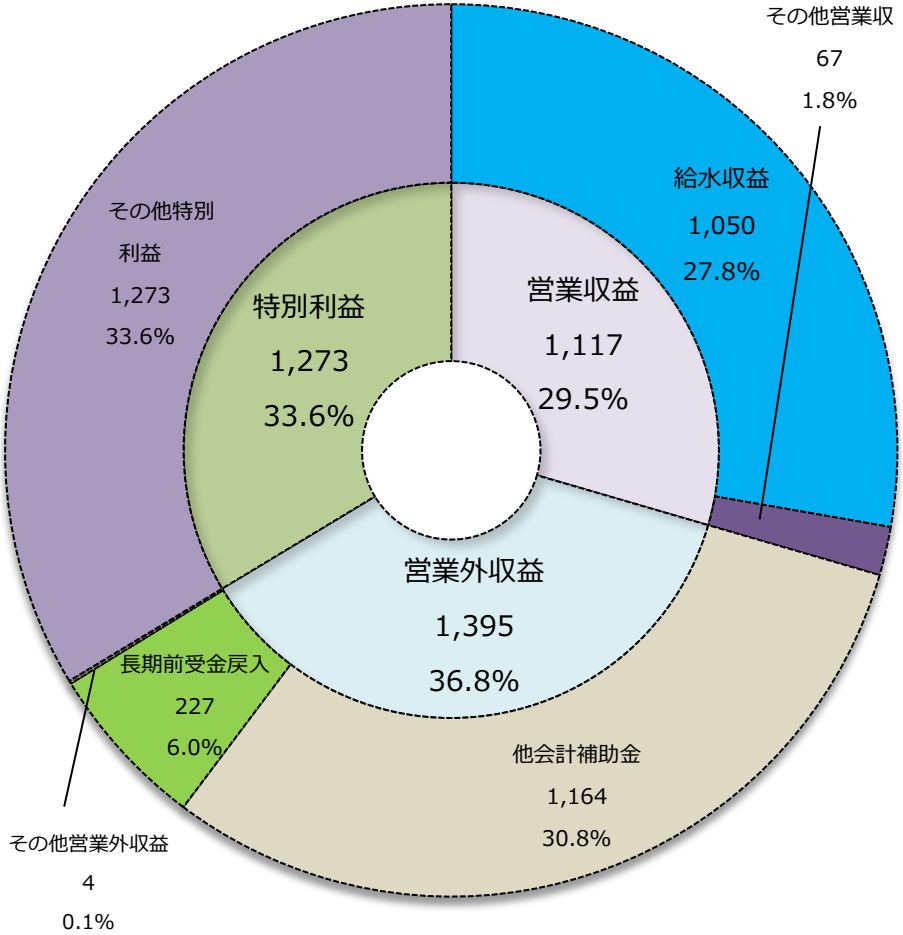
【資本的支出】

■建設改良費（拡張費、改良費など）：6億3,000万円
■企業債償還金など：10億2,800万円　　■合計：16億5,800万円

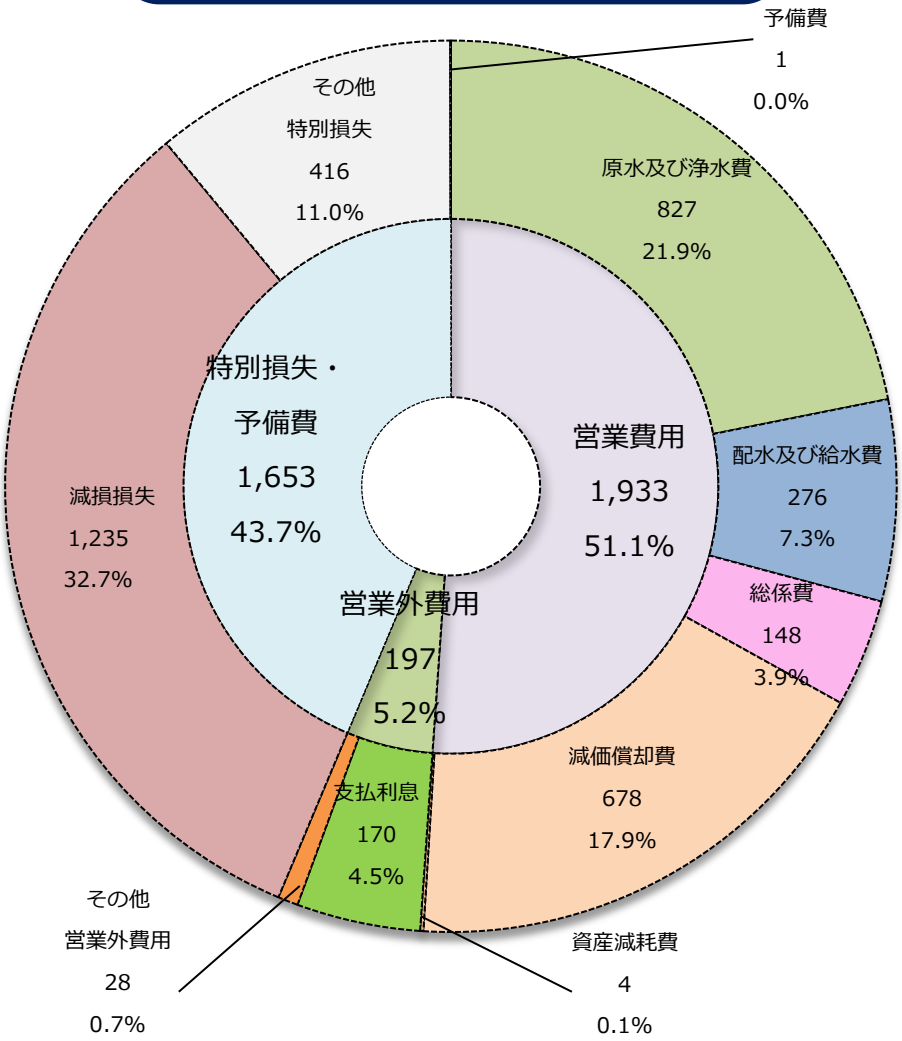
2　収益的収支について　（１）収益的収支の構成

単位：百万円

収益的収入　3,785百万円



収益的支出　3,783百万円



2　収益的収支について　（２）前年度予算との比較

（単位：百万円）	H29予算額	H30予算額	増減率	増減額
１収益的収入（水道事業収益）	**2,094**	**3,785**	**80.8%**	**1,691**
（１）営業収益	1,126	1,117	△0.8%	△9
①給水収益（水道使用料）	1,059	1,050	△0.8%	△9
②その他(加入者負担金等)	67	67	0%	0
（２）営業外収益	968	1,395	44.1%	427
①他会計補助金	731	1,164	59.2%	433
②長期前受金戻入	232	227	△2.2%	△5
③その他（雑収益等）	5	4	△20.0%	△1
（３）特別利益	0	1,273	-	1,273
２収益的支出（水道事業費用）	**2,094**	**3,783**	**80.7%**	**1,689**
（１）営業費用	1,877	1,933	3.0%	56
①原水・浄水費	817	827	1.2%	10
②配水・給水費	251	276	10.0%	25
③総係費	127	148	16.5%	21
④減価償却費	680	678	△0.3%	△2
⑤資産減耗費	2	4	100%	2
（２）営業外費用	216	197	△8.3%	△18
①企業債利息	183	170	△7.1%	△13
②その他（消費税等）	32	27	△12.5%	△4
（３）特別損失	0	1,652	-	1,652
（４）予備費	1	1	0%	0

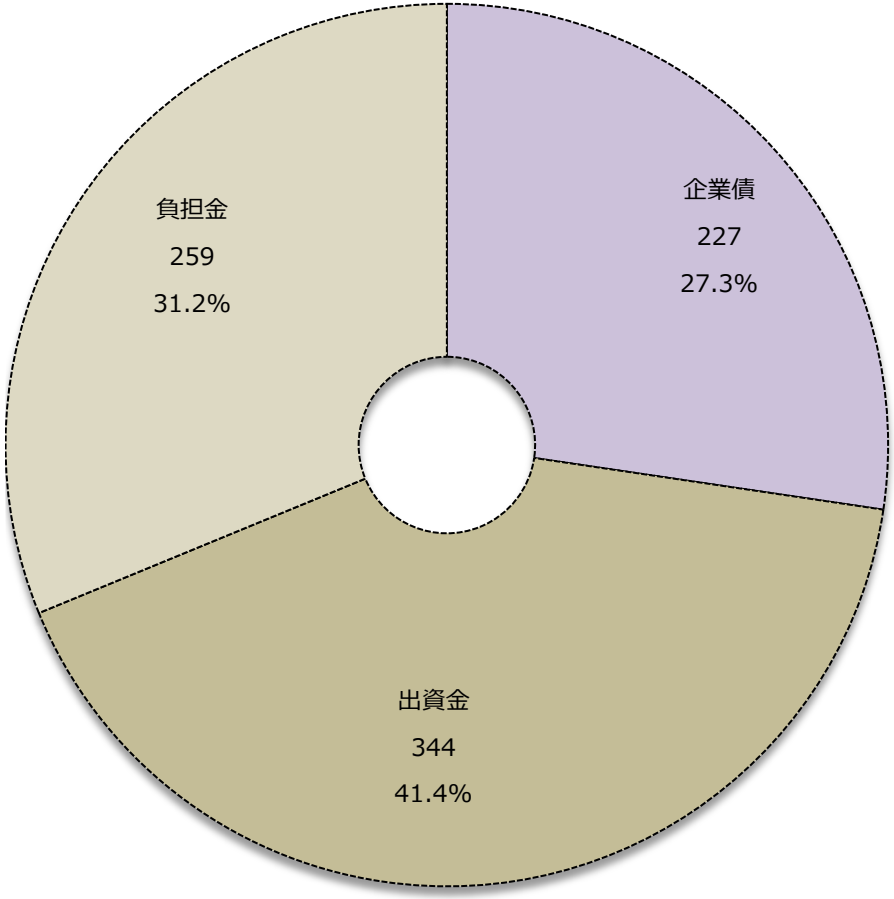
主な増減要因

- 有収水量の減に伴う給水収益（水道使用料）の減
- 特別損失及び事業費の増に伴う一般会計補助金の増
- 霞ヶ浦導水事業撤退に伴う長期前受金戻入を計上したことによる増
- 霞ヶ浦導水事業撤退に伴う減損損失、固定資産除却費等の計上による増

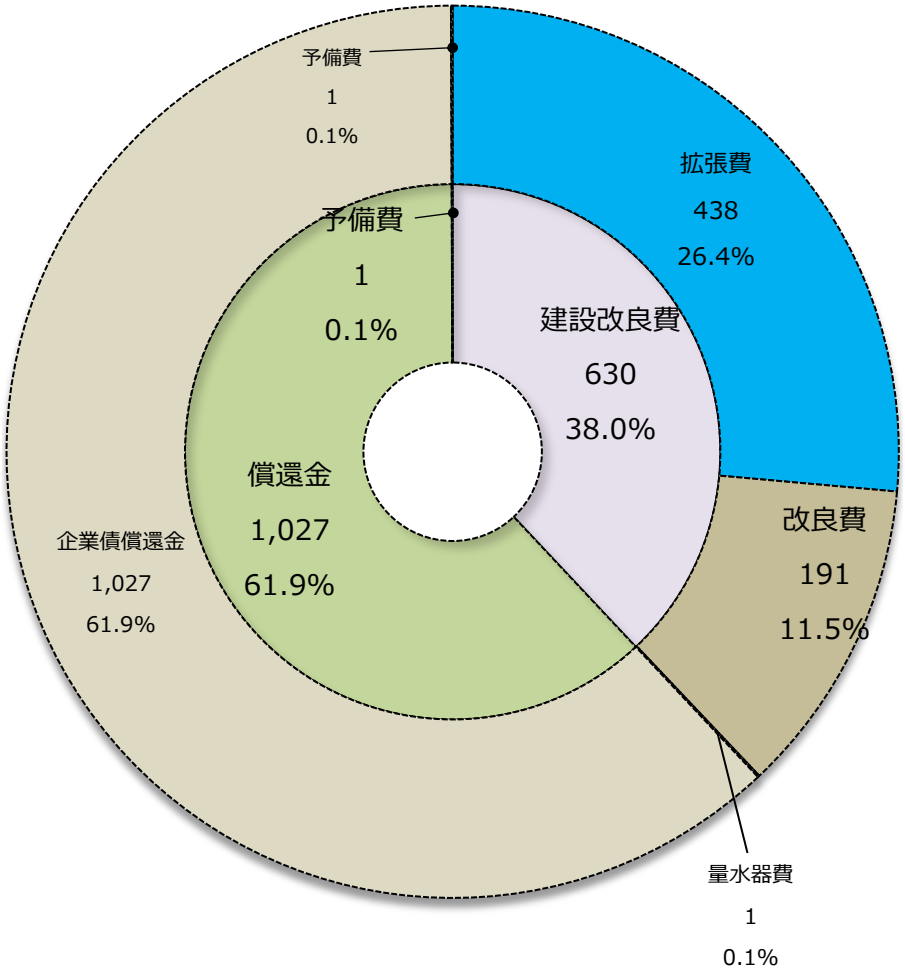
3　資本的収支について（１）資本的収支の構成

単位：百万円

資本的収入　830百万円



資本的支出　1,658百万円



注　資本的収入額が資本的支出額に不足する828百万円は補てん財源等を使用

3　資本的収支について（２）前年度予算との比較

（単位：百万円）	H29予算額	H30予算額	増減率	増減額
1　資本的収入	**1,140**	**830**	**△27.2%**	**△310**
（１）企業債	207	227	9.7%	20
（２）出資金（他会計出資金）	651	344	△47.2%	△307
（３）負担金	282	259	△8.2%	△23
2　資本的支出	**1,585**	**1,658**	4.6%	73
（１）建設改良費	628	630	0.3%	2
①拡張費	444	438	△1.4%	△6
②改良費	183	191	4.4%	8
（２）償還金（企業債償還金）	956	1,027	7.4%	71
（３）予備費	1	1	0%	0

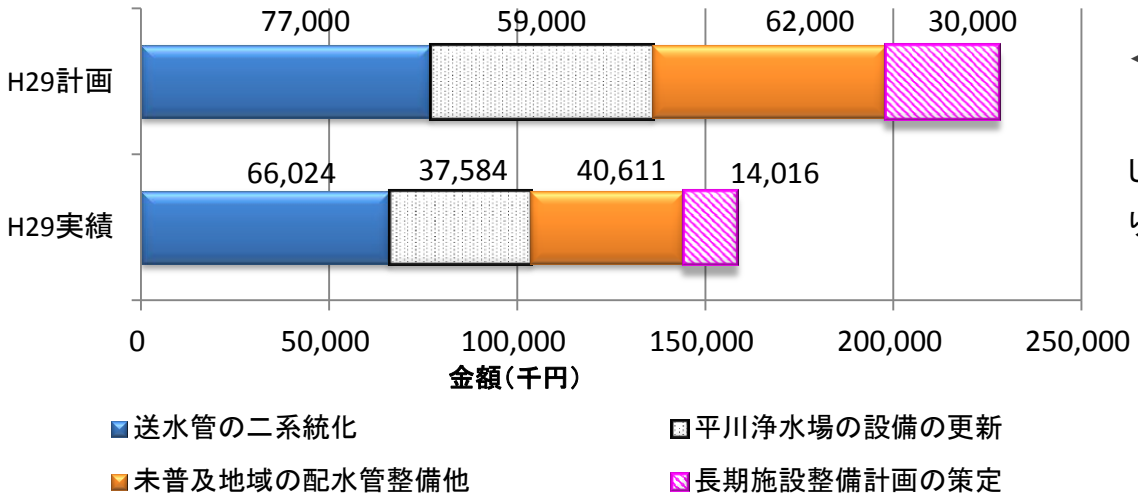
主な増減要因

霞ヶ浦導水事業撤退に伴う内部留保資金の増による減

元利均等償還方式を採用していることによる元金償還額の増

4　中期経営計画との比較について　（１）主要事業等の計画と実績【平成29年度】

①主要事業：平成29年度決算見込額　158,235千円（計画 228,000千円）



＜差異の理由＞

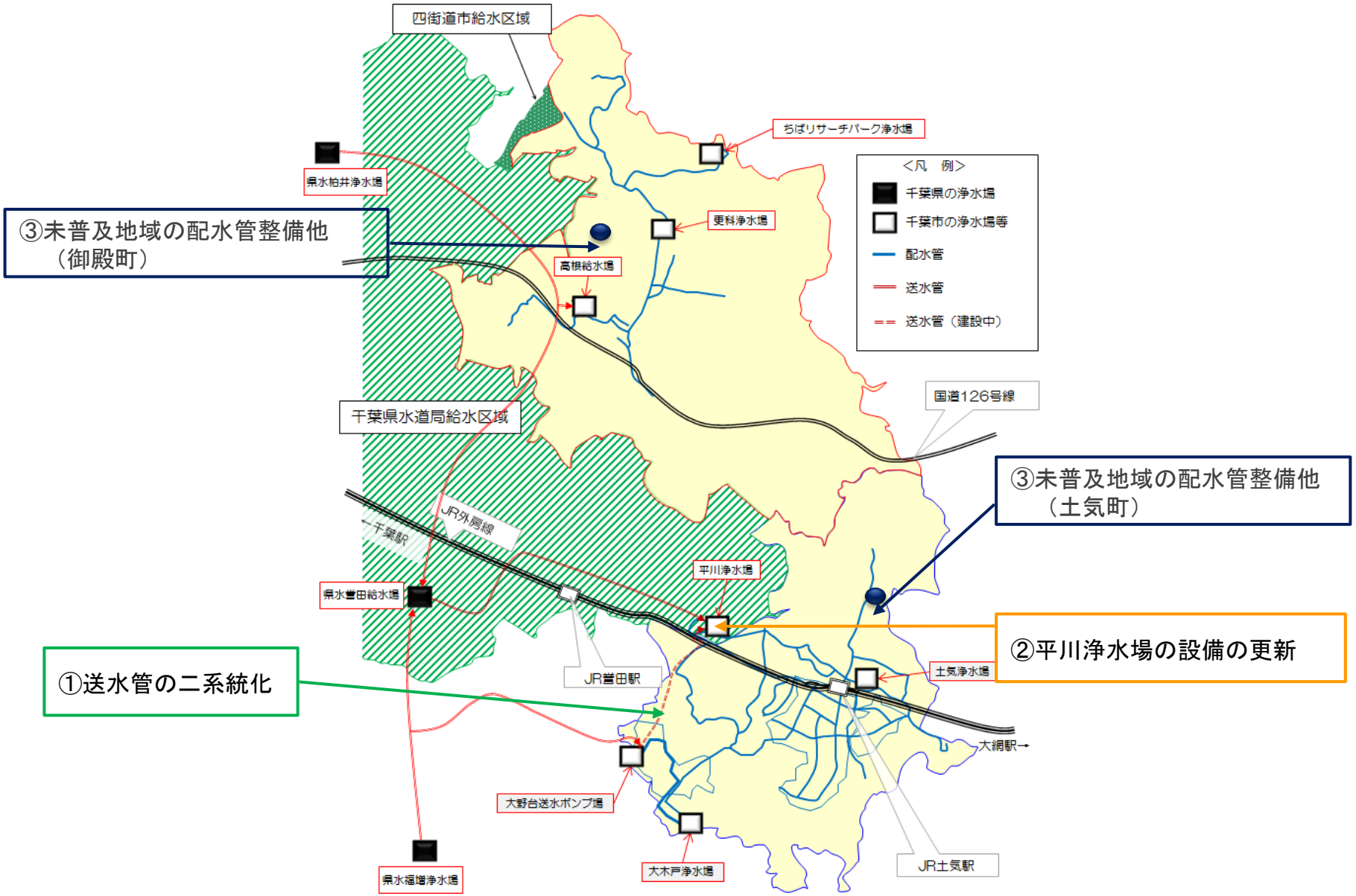
未普及地域の配水管整備他の一部を予算化しなかったことによる減や、入札による減により、全体的に計画額を下回りました。

②他会計繰入金：平成29年度決算見込額　計1,312百万円（計画 1,442百万円）

（単位：百万円）	H29計画額	H29決算見込額	増減率	増減額
収益的収支分	**829**	**695**	**△16.2%**	**△134**
基準内	368	377	2.4%	9
基準外	461	319	△30.8%	△142
資本的収支分	**614**	**617**	**0.5%**	**3**
基準内	33	35	6.1%	2
基準外	580	583	0.5%	3
合計	**1,442**	**1,312**	**△9.0%**	**△130**

③企業債残高（決算見込）：平成29年度末　18,820百万円（計画18,910百万円）

千葉市水道事業に関連する施設及び主要事業の箇所図



4　中期経営計画との比較について　（２）主要事業の実績【平成29年度決算見込】

①　送水管の二系統化　66,024千円

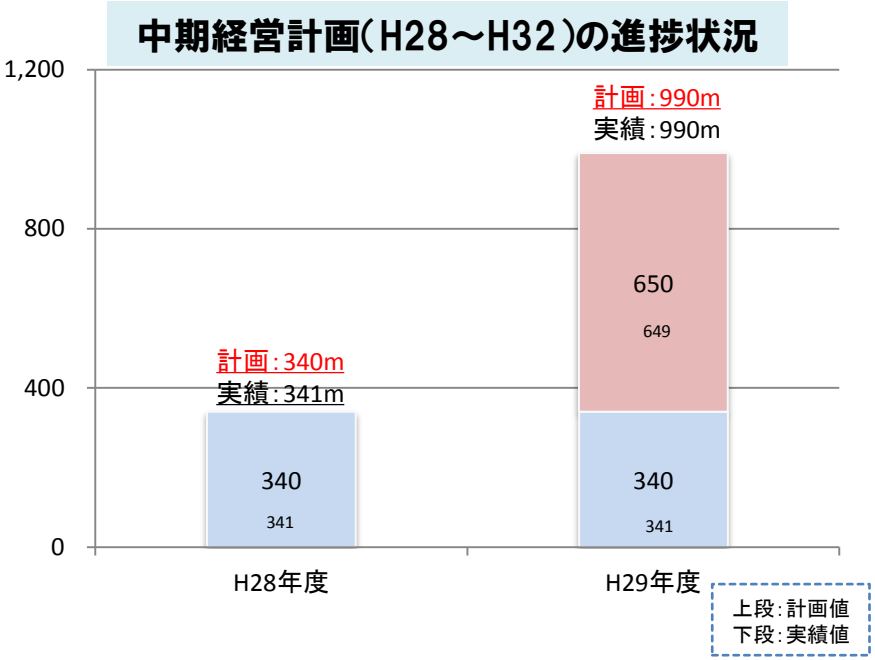
（計画　77,000千円）

送水管の布設　649m　【（990/990m）達成】

平川系を他の系統と相互連絡させるため、大野台送水ポンプ場から平川浄水場への送水管の整備を実施しました。
併せて管種に耐震管を採用したことから、供用開始に伴い基幹管路の耐震化率が向上します。

＜差異の理由＞

入札により契約金額が減となりました。



②　平川浄水場の設備の更新　37,584千円

（計画　59,000千円）

設備の更新　2台　【（2/16台）順調】

平川浄水場電気・機械設備長寿命化計画に基づき、平川浄水場監視制御設備の更新工事を行いました。
（H28年：平川浄水場電気・機械設備実施設計業務委託）

＜差異の理由＞

入札により契約金額が減となりました。

監視制御設備

③ 未普及地域の配水管整備他 40,611千円

（計画 62,000千円）

管等の布設 1,233m

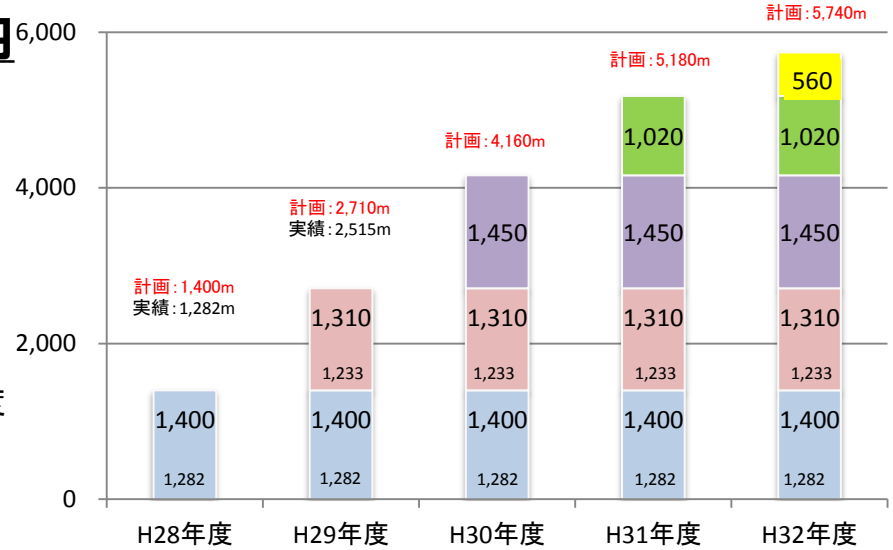
【（2,515/5,740m）順調】

給水要望のあった若葉区御殿町に配水管の整備を実施しました。H29年度実施箇所は、13件の給水接続が可能となります。

また、平成28年度整備した土気町は21件の給水接続となり、本年度舗装復旧工事を実施しました。

＜差異の理由＞

下田町の新規需要に対応するための費用を計画していましたが、若葉区の水運用の検討が必要になり、この費用を予算化しませんでした。



上段：計画値
下段：実績値

配水用ポリエチレン管布設状況

舗装復旧状況

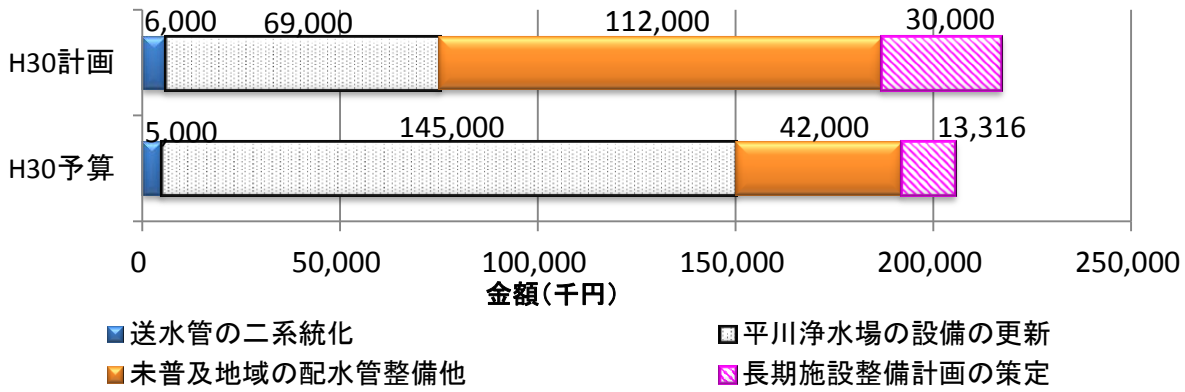
④ 長期施設整備計画の策定 14,016千円（計画 30,000千円）

＜差異の理由＞

委託発注する予定であった業務を、一部職員で実施することとし、さらに入札により契約金額が減となりました。

4　中期経営計画との比較について（３）主要事業等の計画と当初予算【平成30年度】

①主要事業：平成30年度予算額　205,316千円（計画 217,000千円）



＜差異の理由＞

未普及地域の配水管整備他が減となりましたが、平川浄水場の設備の更新が増となり全体事業費としては計画額に近い額となりました。

②他会計繰入金：平成30年度予算額　計1,508百万円（計画 1,486百万円）

（単位：百万円）	H30計画額	H30予算額	増減率	増減額
収益的収支分	**821**	**1,164**	**41.8%**	**343**
基準内	331	344	3.9%	13
基準外	490	820	67.3%	330
資本的収支分	**665**	**344**	**△48.3%**	**△321**
基準内	35	33	△5.7%	△2
基準外	630	311	50.6%	△319
合計	**1,486**	**1,508**	**1.5%**	**22**

＜差異の理由＞

霞ヶ浦導水事業撤退に伴う経理処理などを行うことにより、他会計繰入金も計画を上回ることとなりました。

③企業債残高（予算上）：平成30年度末　18,020百万円（計画18,148百万円）

①　送水管の二系統化　5,000千円（計画　6,000千円）

送水ポンプ場設備の改良　（H30～33年度継続）

大野台送水ポンプ場から平川浄水場に送水するには、高低差が約20mあるため、大野台送水ポンプ場の改良などを実施する必要があり、基本設計を行います。

年度	内容	事業費（千円）
30	基本設計	5,000
31	実施設計	7,000
32	改良工事（電気・機械設備）	25,000
33	改良工事（平川計量設備）	25,000

②　平川浄水場の設備の更新　145,000千円（計画　69,000千円）

設備の更新　10台【（12/16台）】

平川浄水場電気・機械設備長寿命化計画に基づき、受変電設備を更新します。

＜差異の理由＞

平成30年度と31年度の2年間で行う予定であった工事を前倒しして行います。

受電盤他

変圧器盤他

（計画）

年度	H29	H30	H31	H32	計
設備数	2台	10台		4台	16台

（実績、予算、予定）

年度	H29	H30	H31	H32	計
設備数	2台	10台	4台	0台	16台

4　中期経営計画との比較について　（４）主要事業の予定【平成30年度当初予算】

③　未普及地域の配水管整備他　42,000千円（計画　112,000千円）

・若葉区給水区域水運用（管網計算）及び下田町配水管布設実施設計、測量

若葉区給水区域における水運用の見直しを実施します。

見直しに伴う配水管整備における実施設計、測量を実施します。（配水管の新設1,900m及び増径改良1,000m）

＜差異の理由＞

北谷津清掃工場等の新たな水需要に対応するため、水運用を見直すとともに、下田町の配水管整備を、平成30年度から実施することとしました。

（計画）

年　度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	計
事業費（千円）	55,000	62,000	112,000	112,000	40,000	－	381,000
下田町	0	12,000	40,000	40,000	40,000	－	132,000
御殿町	37,400	37,000	72,000	72,000	－	－	218,400
土気町	17,600	13,000	－	－	－	－	30,600
工事延長（m）	1,400	1,310	1,450	1,020	560	－	5,740
下田町	0	0	670	660	560	－	1,890
御殿町	930	1,310	780	360	－	－	2,450
土気町	470	0	－	－	－	－	470

・未普及地域の配水管整備

（舗装の復旧　3,400㎡ ）【2,515m /5,740m 】

若葉区御殿町の舗装復旧を実施します。

平成31年度には全て供用開始の予定です。

＜差異の理由＞

水運用の見直しに伴い、御殿町の一部工事を実施しないこととし、また、下田町の配水管整備を、平成30年度から実施することとしました。

（実績、予算、予定）

年　度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	計
事業費（千円）	44,928	40,611	42,000	108,000	37,000	56,000	328,539
下田町	0	0	**26,000**	37,000	37,000	56,000	156,000
御殿町	29,160	29,257	**16,000**	71,000	－	－	145,417
土気町	15,768	11,354	－	－	－	－	27,122
工事延長（m）	1,282	1,233	0	1,376	950	1,000	5,841
下田町	0	0	**0**	950	950	1,000	2,900
御殿町	812	1,233	**0**	426	－	－	2,471
土気町	470	0	－	－	－	－	470

④　長期施設整備計画の策定　13,316千円（計画　30,000千円）

＜差異の理由＞

委託発注する予定であった業務を、一部職員で実施することとし、さらに入札により契約金額が減となりました。

5　長期施設整備計画の策定状況

（１）計画の位置付け

千葉市公共施設等総合管理計画
（平成27年度～平成36年度）

反映

千葉市水道事業長期施設整備計画

反映

千葉市水道事業中期経営計画
（平成28年度～平成32年度）
「強靭」・「持続」・「安全」
（水道事業ビジョン）

継承

千葉市水道事業中期経営計画
（平成33年度～）

反映

反映

厚生労働省

新水道ビジョン（H25.3）
【基本理念】
「地域とともに、信頼を未来
につなぐ日本の水道」

総務省

経営戦略（H26.8）
【基本的な考え方】
「各公営企業が、将来にわたって
安定的に事業を継続していくた
めの中長期的な基本計画」

5　長期施設整備計画の策定状況

（２）計画策定の目的

水道事業を維持するうえでの戦略的な取り組みとして、施設の規模、重要度、老朽度、耐震性、水道事業経営を考慮し、適切な時期に施設を更新・整備していくための長期計画です。

施設の健全性を保持し、
長寿命化を図ります。

将来の水需要に応じた施設の
統廃合及び適正な規模への
見直しを行います。

費用の平準化

費用の低減

5　長期施設整備計画の策定状況

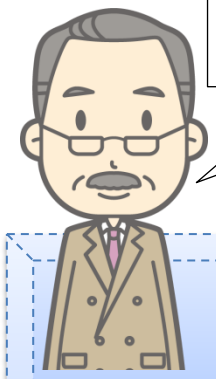
（３）策定までの流れ

現状分析

・現有資産の整理
・分析結果

将来分析

・水需要予測
・更新費用
・施設更新の優先順位



計画期間は、
平成33年度からの30年間です。

整備計画

今年度は、本市水道事業の現状と
将来について分析を行いました。

来年度は、その分析結果をもと
に整備計画を作成します。

平成29年度　　平成30年度

5　長期施設整備計画の策定状況

（４）対象施設

施設名	土木構造物	建築物	電気･機械設備
土気浄水場	配水池 送水調整池 着水井 排水池 天日乾燥床 取水井 ろ過ポンプ井　など	管理棟 車庫 作業棟 受変電棟 発電機室棟 電気室 ポンプ室 配水池棟　など	監視制御設備 受変電･配電設備 無停電電源設備 計装設備 自家用発電設備 薬品注入設備 ポンプ設備 ろ過機　　など
平川浄水場			
大木戸浄水場			
大野台送水ポンプ場			
更科浄水場			
ちばリサーチパーク浄水場			
高根給水場			
管路	導水管、送水管、配水管、弁栓類　など		

配水池

管理棟

管路

ろ過機

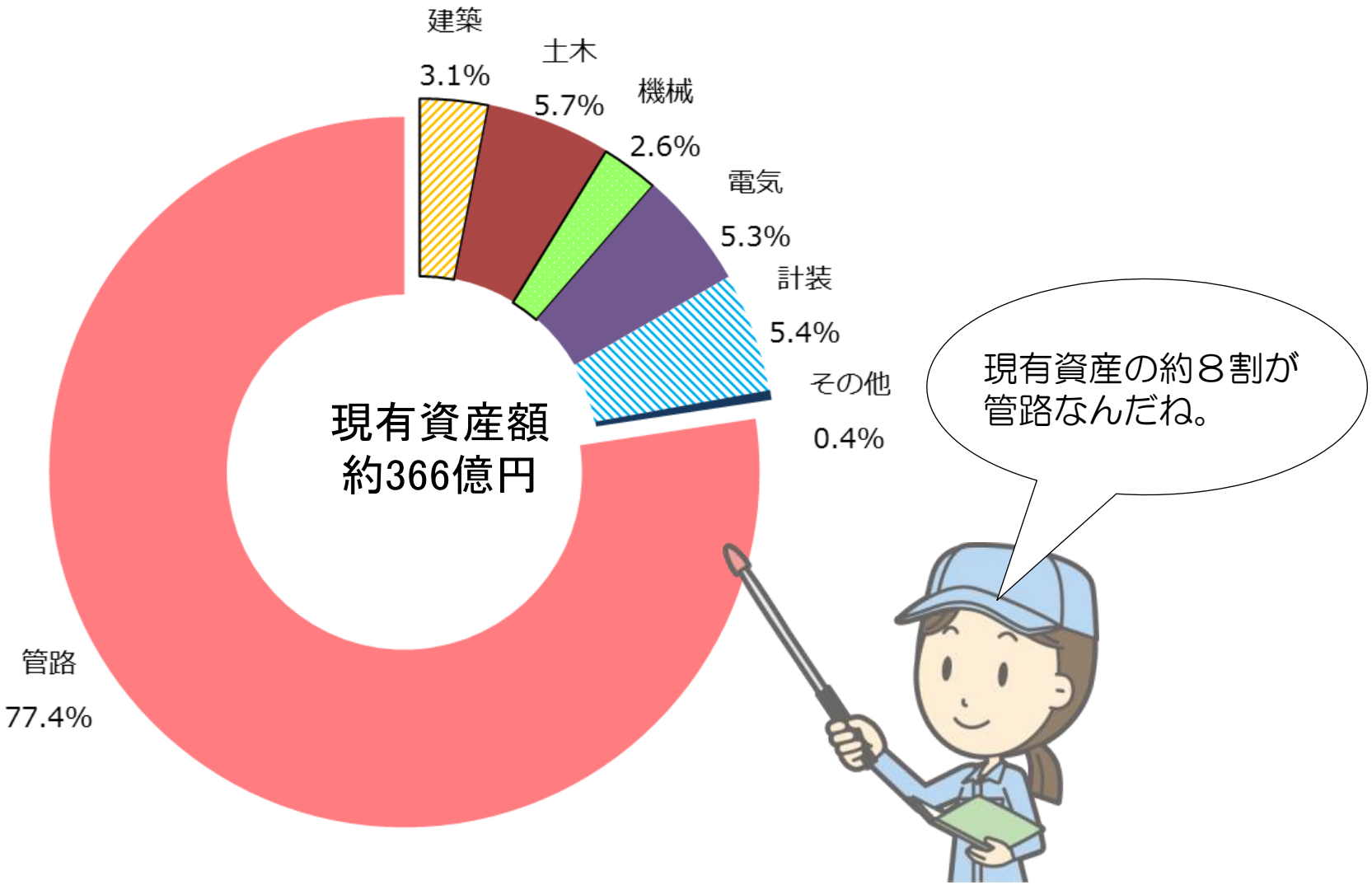
排水池

受変電設備

薬品注入設備

ポンプ設備

①　現有資産の整理（全施設）



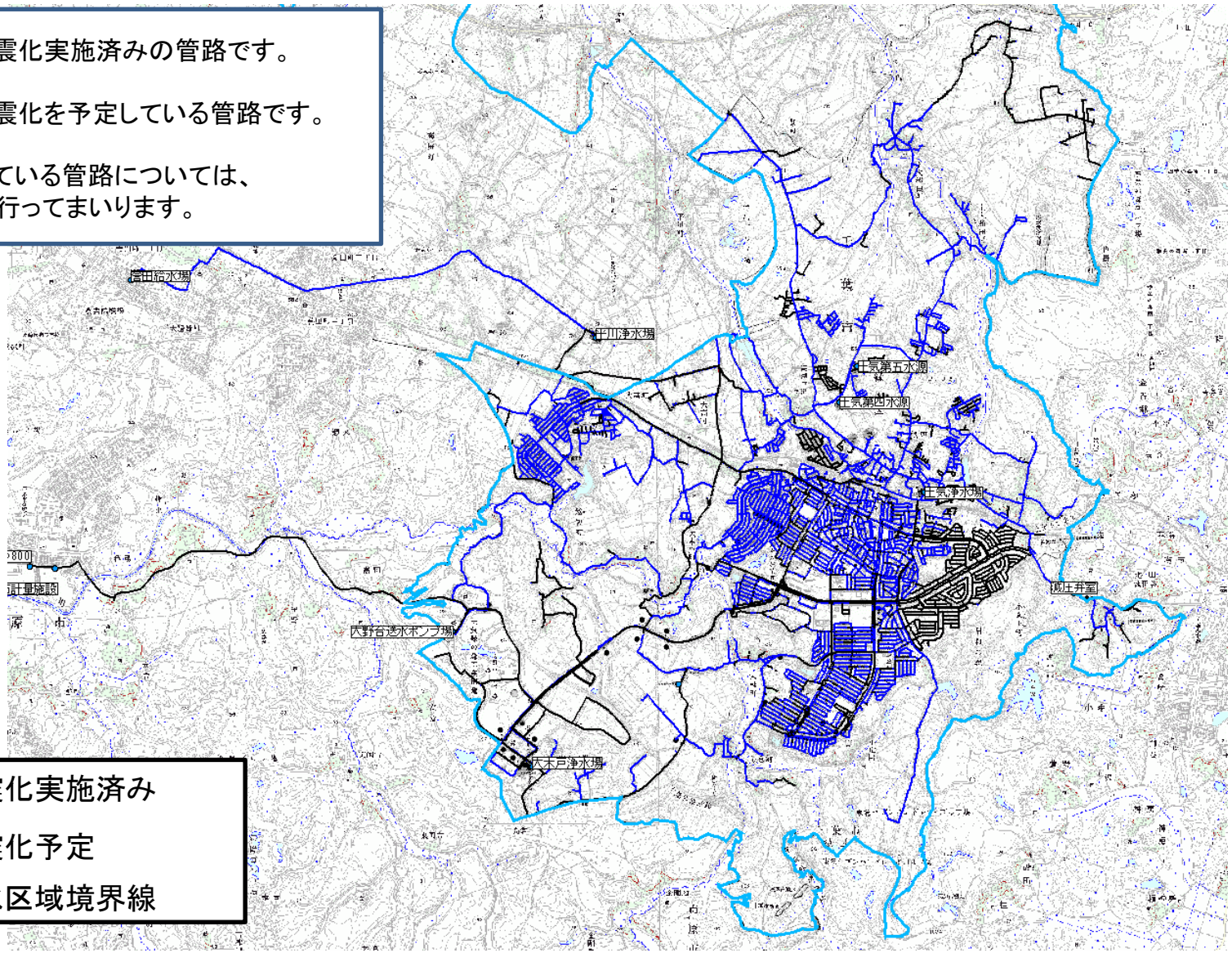
5　長期施設整備計画の策定状況

②　現有資産の整理（緑区の管路分布）

◆黒の箇所は、耐震化実施済みの管路です。

◆青の箇所は、耐震化を予定している管路です。

◆耐震化を予定している管路については、
計画的に整備を行ってまいります。



:耐震化実施済み

:耐震化予定

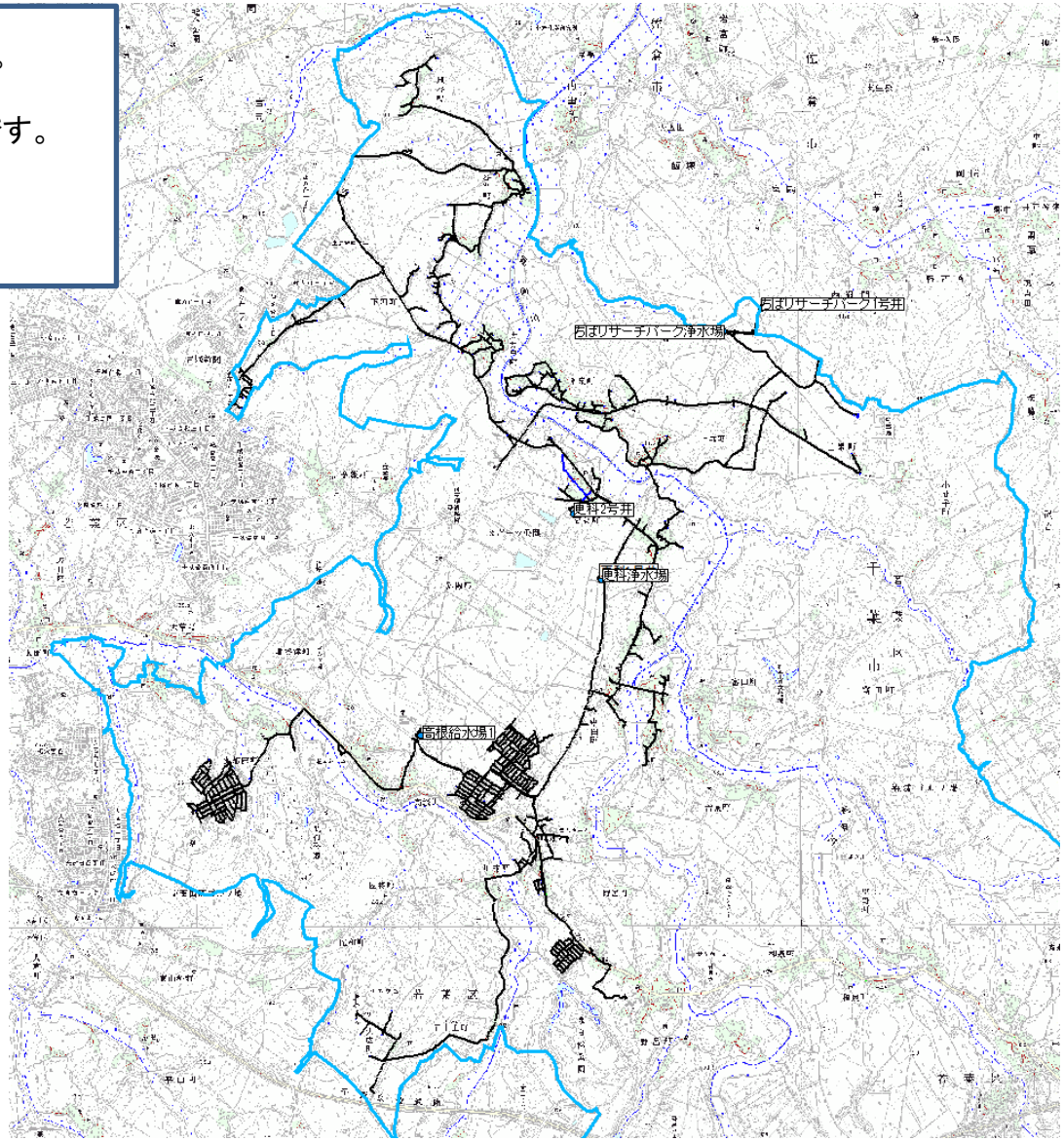
:給水区域境界線

③ 現有資産の整理（若葉区の管路分布）

◆黒の箇所は、耐震化実施済みの管路です。

◆青の箇所は、耐震化を予定している管路です。

◆耐震化を予定している管路については、
計画的に整備を行ってまいります。



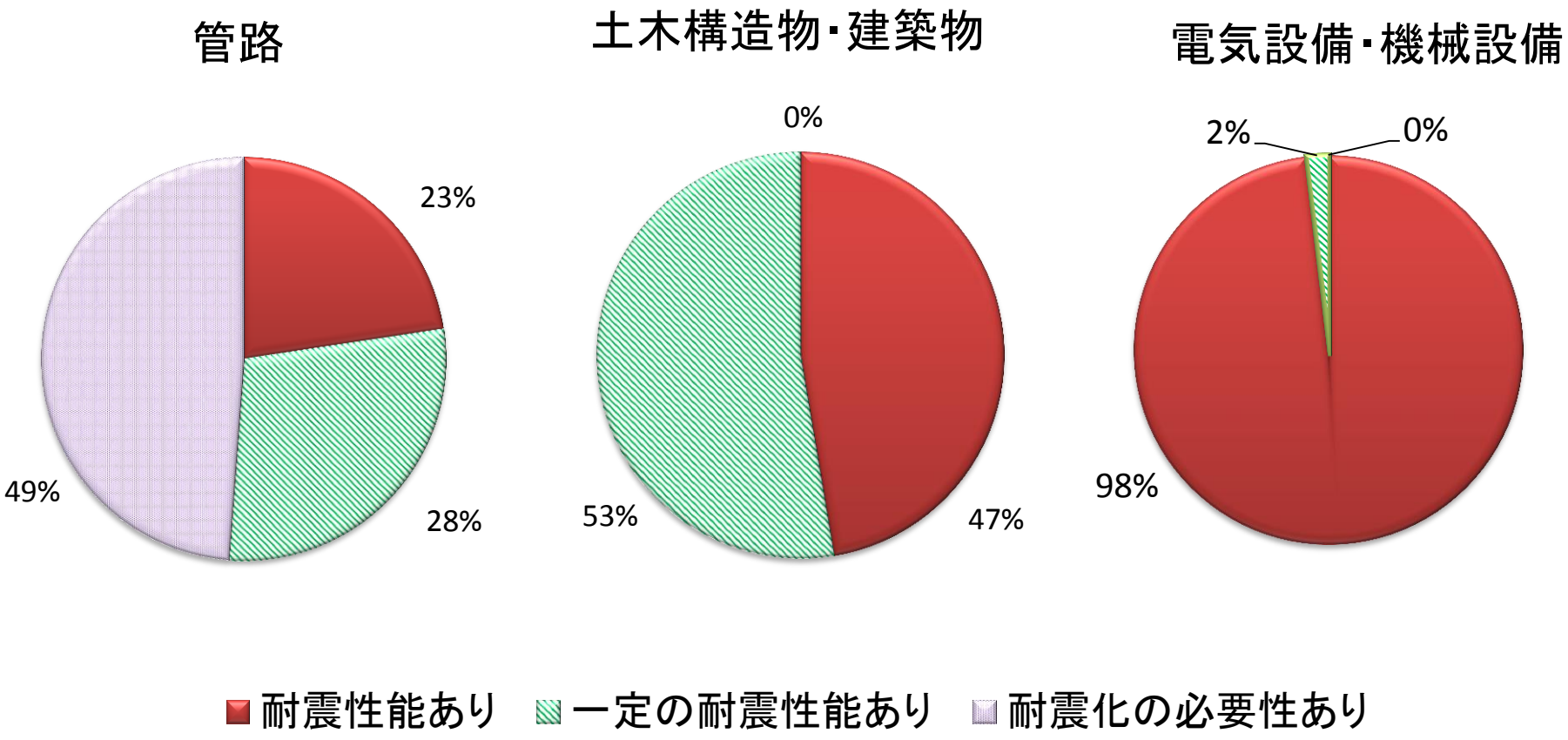
:耐震化実施済み

:耐震化予定

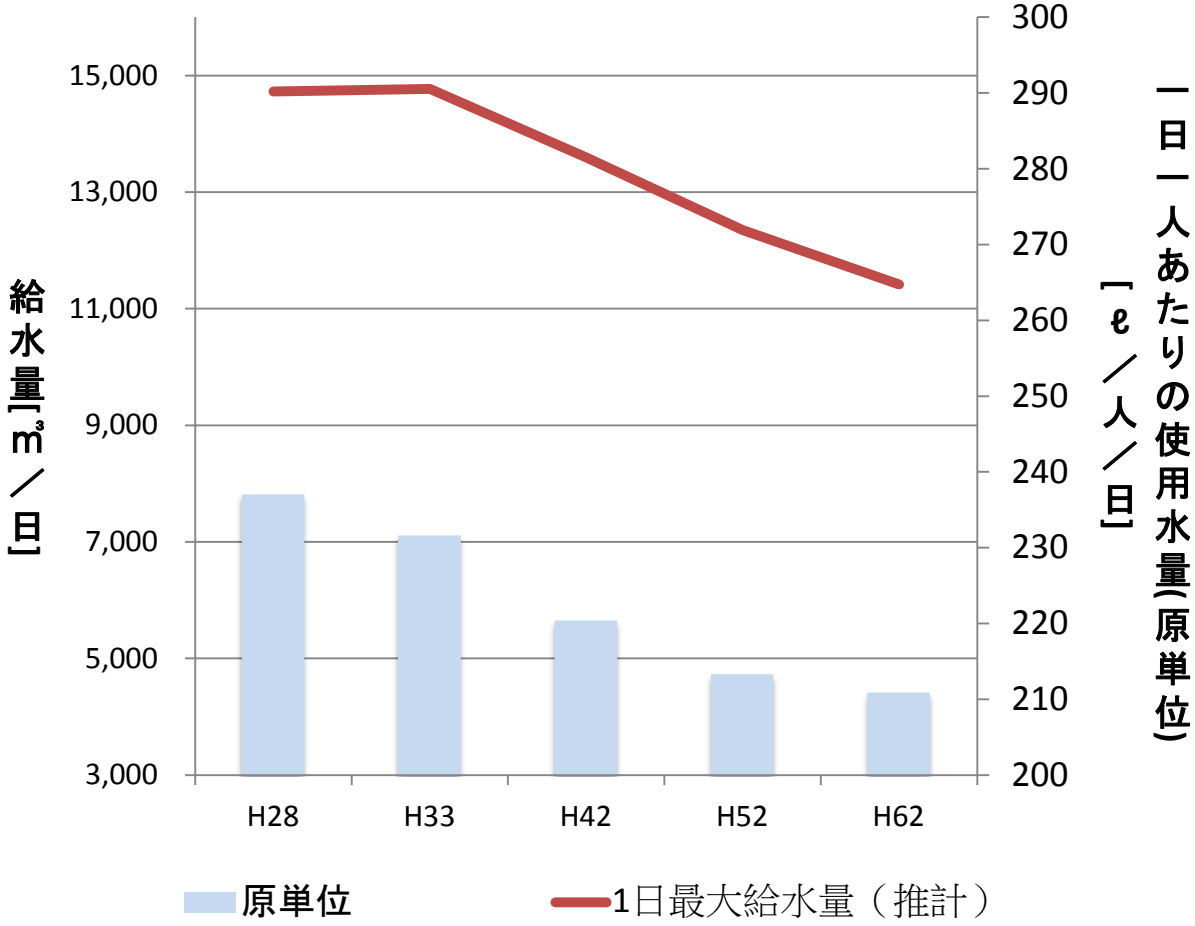
:給水区域境界線

5　長期施設整備計画の策定状況

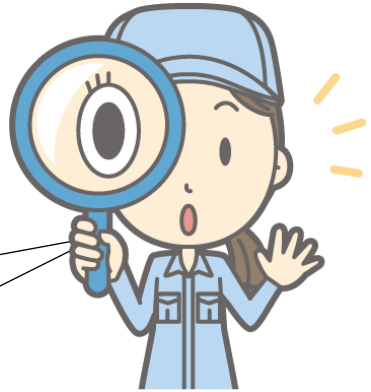
④　分析結果



①　水需要予測

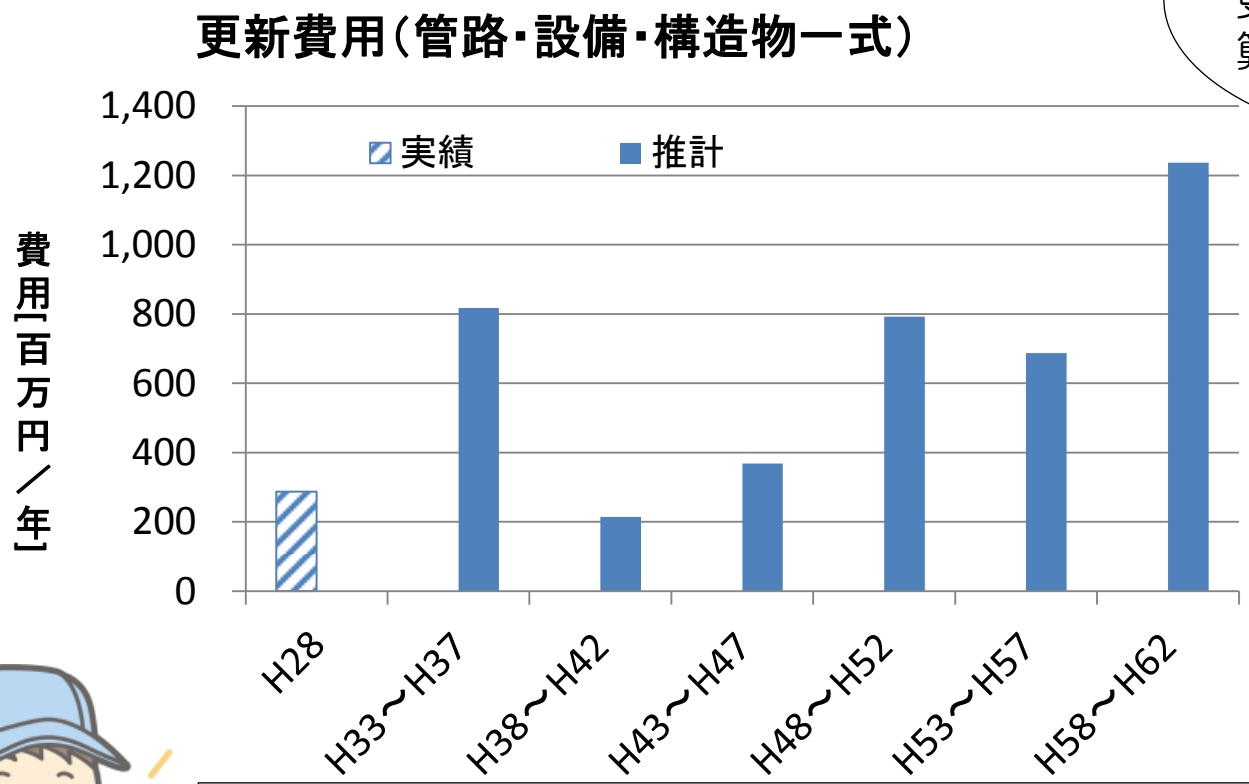


この予測値は、最新の国勢調査による将来人口推計の結果を反映する予定です。



水需要は、将来の実績値と大きくそれてしまわないよう慎重に予測することが大切です。

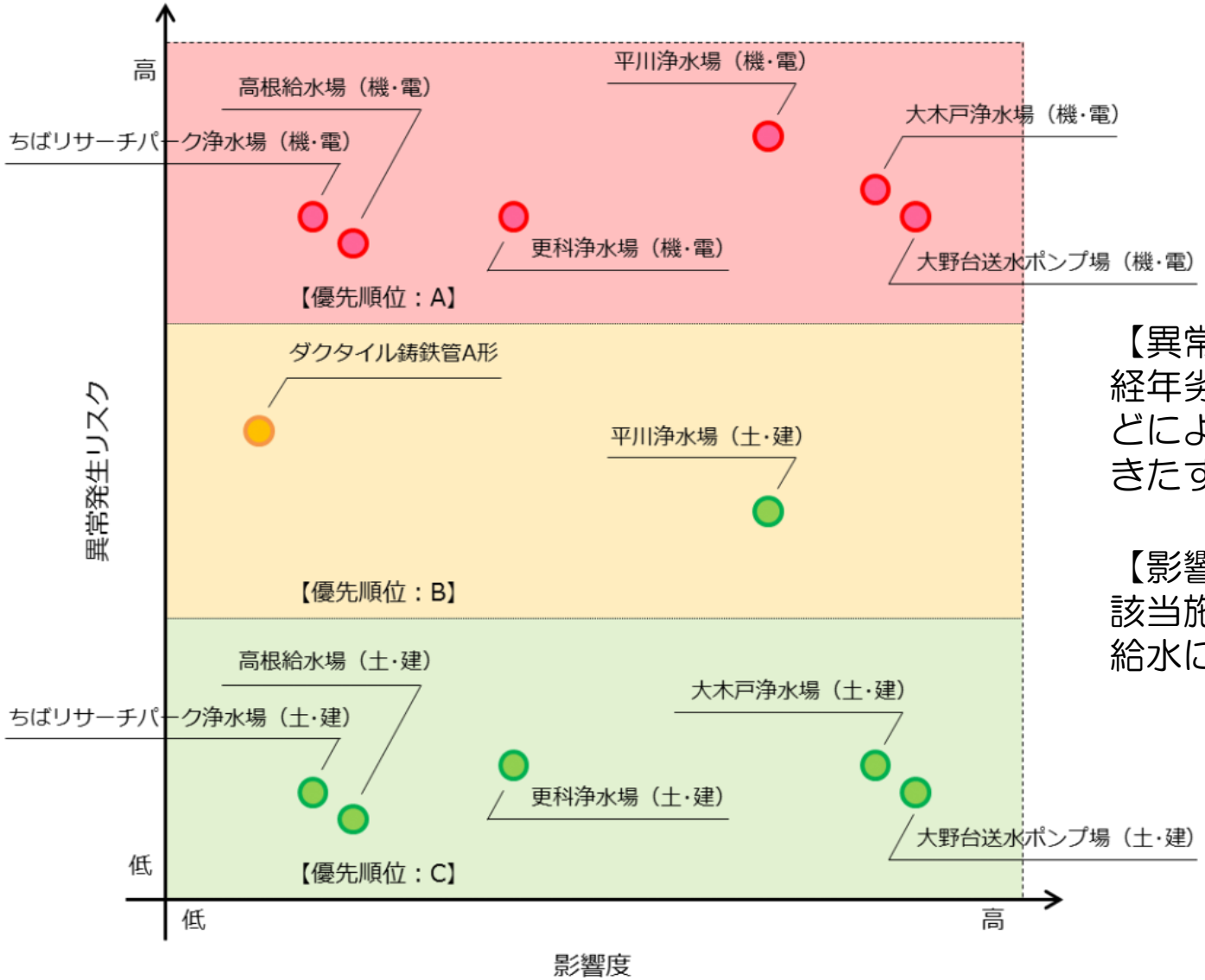
②　更新費用の算定



施設の法定耐用年数を過ぎても、大切に維持管理をしながら
できるだけ長く使用することに努めます。

施設を適正な規模に見直ししながら、全体の費用を低減・平準化します。

③ 施設更新の優先順位



【異常発生リスク】
経年劣化や設備の動作不良などにより、安定給水に支障をきたす可能性

【影響度】
該当施設の異常により、給水に支障がでる世帯数

5　長期施設整備計画の策定状況

（７）次年度の内容

今後のスケジュール

内容	H29年度	H30年度	H31年度
受注者作業　現状分析・将来分析・基本事項の決定 施設整備案の抽出・評価・決定、計画のとりまとめ			
運営協議会の開催	3月	8月　3～4月	
長期施設整備計画(案)の作成		2月	
市政だより･パブコメ手続き･パブコメ回答　対応			
長期施設整備計画の策定			9月